



発行所
 県立芦屋高等学校
 出版部
 兵庫県芦屋市宮川町82

二面特集

「どこへ行く
 芦高新聞」
 付録

転居のお知らせ
 出版部は、七月終り、左記の不便かつ汚ない教室に飛ばされたことをお知らせします。
 パイプ教室412号の北側
 おひまな方はぜひ、一度おいでください。

出版部の実情

危機にひんした出版部

長い伝統を持ち、活動をしき出版部が部員減少で、今、擁護しようとしている。芦高生諸君、これだけのか、諸君の関心、協力求め、実情報告とします。今年四月からの経過を書きます。

4月 部員八名(三年四名・二年男子一名・女三名)、一年生入部せず。
 5月 一年男子一名、遠方転居のため退部、一年生入部せず。
 7月 二年生退部、仮契約三万円で一年女子一名入部。
 7月末、百三十円などが出版部(五月)で遠方転居で無理をしていた。
 未だ二年生入部せず。
 9月中旬、仮契約有効期限切れ一年女子部員一名、往年の女子部員一名退部宣言(兩名とも、部員不足で仕事の重荷になえかね……無理もないことだ)と。
 退校中の二年男子復職、なし。

とか今号だけ二年女子部員くらいある。

右の経過後、現在部員五名、女子四名・男子一名、一年からやってきた人が三名、七月に入部した部員一名で、現状ではとても、やっていけない。そして致命的なことは、一年生部員0名が、将来性をなくしている。

その上、今号を機に、二年部員三名になる。現在でも、学校の内、ニュースに手がまわらず、やっと出版しているのに、もう不可能である。こんなことになるまでどうやってほっておいたのかと思われかもしれないが、四月初め一年生へある程度の呼びかけはあった。一方、転居のため、あわたたしく通ひしてしまっただけ。例年一学期の終わりに、一学期始めの入り部者が、わりから、一学期始めの入り部者が、多く、楽観視していた。しかし六月、三年生が手をひき、残った部員女子三名(ほぼ)にもならず、男子一名(ほぼ)にもならず、

ひねんでいたい。

出版部はクラブなのか、文化クラブには属していない。書記外局という立場だが、執行とのつながりはある。前号の新聞で、何かのせたいことか、出版に対しての希望、新聞の記事に対する不満があれば直接出版部までいってきい、と誓ったが、今もかわりない。いかに芦高新聞をよんでいなくとも、いかによむことがよむかの。報道する機関を必要としな

クラブというものは、楽しみながらするものだ。(も)ちろんこの場合の楽しみとは、ただ遊ぶというだけのことではない。(た)とえ今つらうから、先にみなを希望といらうものをみながらするもの。今の出版部には、それがない。いやいやながらしているのだ。新聞を作ることにした。いやいやがらしてきたのだ。なぜ、

決して嫌じゃないんだけど、雰囲気には嫌なところがある。だんだん、だかちもって楽しくない。大部が義務感からきている。少し人数が多かったらち

転居のお知らせ
 出版部は、七月終り、左記の不便かつ汚ない教室に飛ばされたことをお知らせします。
 パイプ教室412号の北側
 おひまな方はぜひ、一度おいでください。

書記外局「出版部」

私が、高一の時、一年間友が新聞作りをいそいでいるのを見て、世の中に、暇な人間もいるものだと感じていた。あんなことで苦勞するくらいなら、運動部の方がまし、もとより、運動部がやで、クラブに入っていたらよかった。一年になって、ひやかし半分に入って、自分のからだを鍛えて、言える。とらった、すばらしいこと発見して、一年の時入って、いれはかかったと後悔しているのだ。

部員、それぞれの意見はまちまちですが、われわれとしては、一年生を無理やりに入れたいとは思いません。自分から進んで、やりたいという人だけならいい。その仕事をまかせたい。いかにいかに、現部員はいかにその努力をわかせませぬ。芦高をよんで、芦高自治の再建にもとじて役に立ちたいし、また、めまぐるしく動く社会にも目を向け、真の芦高

出版部は文化クラブではない。書記外局である。しかし、実のところ、われわれ部員には書記外局とは何かさっぱりつかめない。文化部幹事会へいって、つまみもの。そして、運動部にまげぬほどの労働(精神的・実質的に)。かといって書記外局連合のようなものは、執行から年に二・三回お呼びだがあった。たまたま三部が顔を合わせるくらい。そして、文句をわられる。ごちちは、部員不足、活動費の値上げを要求。三部に横の関係がないので、力が弱く、おされはなし。しかし、放送部は、活動が自治活動に直結し、また、連絡係のようなものもいって、さうでもない。中でも出版部は、こまごまされる。「今度の新聞の内容は何だ。これは誤っている」なんて脅してやられる。まあ、さういふ文句を言ってくるだけでも、まだいい。(一般生徒は向の反応もしめさない)

(裏面につづく)

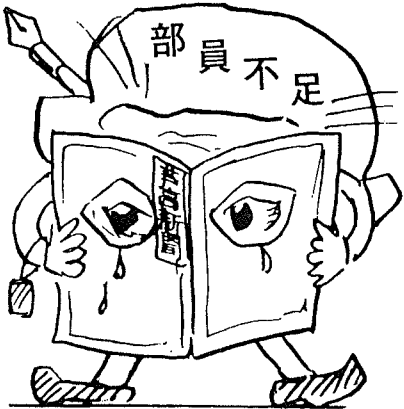
出版部員最後の大募集

君の青春をかけれるクラブ
 「出版部」芦高再建のにないて「出版部」

男なら出版部へ!
 女なら出版部へ!
 みんな入れよ、出版部!

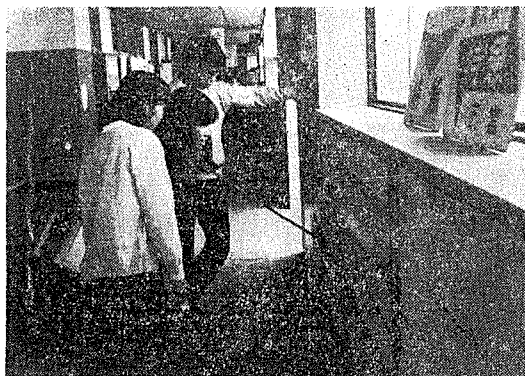
1年 2年生優遇 社会保障なし
 月給制(-?円)

パイプ教室東の真中
 例会日 火・木・土

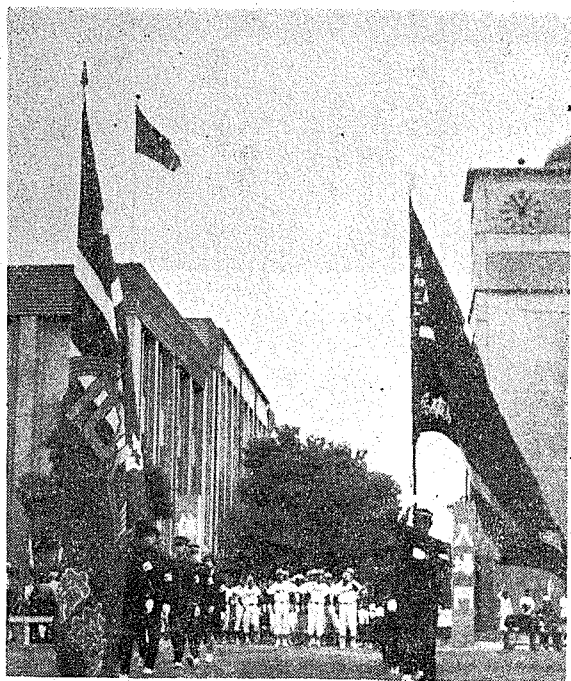


芦高新聞どこへ行く

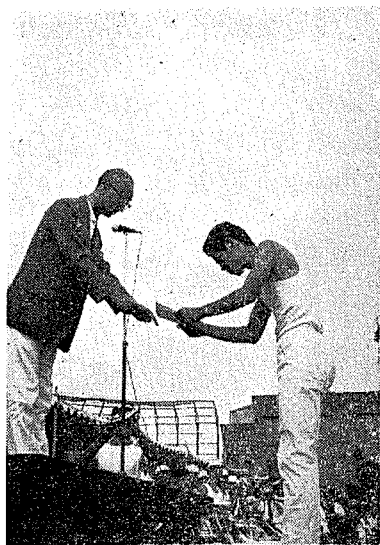
*** 記 念 祭 写 真 特 集 ***



▲ エー、黄書(鉄研前)



▶ さすが、カッコイ、応援団
(運動部入場行進)



▲ ヤットンノベイビー、
3IG 優勝する

▼ チヨウダノハんだノ
(3-J 仮装行列)



▶ 考える人
(スピーカーズコーナー)



▶ 無関心派
(サークルダンス)

未熟な出版部

しかし、執行が満足してから、一回も会議がなく、(むこうは、記念祭を忙しむ)また、こっちはこっちは部員足らずで、執行へ行き、代議員会へ行きなんて動きまわれない。だから、執行とはいわゆる「断絶の世界」そのものである。コンナコッチヤだめなので、記念祭終わったら、二つ会議もとう。そこで「提案する。書記局用の執行委員を一人おやしたらどうや、ま参考してほしい。

以上、雑談を入れながらのべたように、書記局外局であってもその特異性がいかされていらない現状を、なんとかしてほしい。

私達出版部員は、未熟です。一人前に紙面に意見や批判文をのせたりしてきました。

しかし、私達自身、一般自治会員と全く同じ、いや、それ以下の知識、判断力しかもち合わせていません。文章を書くにしろ、たいてい文才をもっているわけでもなく一つの記事に何時間もかけて書き上げます。その文章、中学生程度のもしか書けません。その上レイアウトなどは素人同様です。しかし、私達は、部員同話話し合ったり、また、印刷屋さんに助けられて、何んとか見れる新聞を作ろうと努力しています。こんな未熟な私達ですが、皆さんの御支援、御助言をたまわって、これからもういきたいと思えます。本日に吾高新聞のことを考えてくれるのなら、出版部に入ってほしい。